

三中だより



令和元年度 1月号

令和2年1月29日発行
荒川区立第三中学校
(学校通信 No.14)

作成者 校長 清水隆彦

「壁を乗り越えた先の新しい未来に向かって」

校長 清水 隆彦

3学期が始まり、早くも1月最終週に入りました。中学校では3年生の私立高校、都立高校の推薦入試が行われ、正に受験期真っ只中の時期を迎えています。先週、4ヶ月にわたった3年生との校長面接をほぼ終えることができました。本当に長い時間がかかりましたが、緊張感の中で真剣に答える3年生の姿と接し、この3年間の成長を実感でき、私にとっては嬉しい時間でもありました。進路決定という大きな壁に向かう3年生を今はただ見守るだけです。これからも様々な経験をし、いくつもの壁を超え、その度に大きく成長していくことでしょう。いよいよ受験期本番です。今は3年生全員が健康に留意し、無事に受験を終えられることを祈るばかりです。

3学期の始業式では、今学期はとても短く1年間のまとめをするとともに、次の年度に向けて準備をする大切な期間であることを伝えました。3学期は、次への準備となる0学期という意識が必要であることを強調しました。いよいよ第三中学校は、来月を迎えると卒業式に向けて加速をしていきます。

充実した輝汐祭（展示の部）（1/18～24）

今や1月実施で定着してきた輝汐祭（展示の部）ですが、本年度は1月18日（土）～24日（金）の期間で開催させていただきました。展示期間中、たくさんの方の保護者、地域の皆様にご来校いただき厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

それぞれの作品から、生徒の日頃の頑張り、工夫などを感じ取っていただけたのではないのでしょうか。今後も展示スペース等を工夫しながら、よりよい展示の部を目指していきたいと考えております。また、部分的には通年での展示も考えております。なお、優秀作品の一部は、荒川区主催の区展、東京都主催の都展に出品されました。4年目となった輝汐祭展示の部が第三中学校の新しい伝統として根付いてきたように感じました。



令和元年度 3学期の「三中てらこや」再開（1/14）

1月14日（火）より3学期の「三中てらこや」が再開しました。今学期から初参加した生徒、継続して学ぶ生徒と様々ですが、多くの生徒が気持ちをリセットしてスタートできたのではないかと思います。1回の参加で大きく学力が伸びるわけではありませんが、小さな積み重ねは必ず実力を伸ばし自信につながります。3年間「三中てらこや」に通い続け、見事に希望校に合格した生徒がいます。各種学力調査で好成績をあげていることや検定試験での上位級の合格率が高まっていることも日々の努力が一つの要因になっています。



さて、今学期は、2月14日（金）に行われる新入生保護者説明会でご説明した後、来年度本校への入学予定の6年生を対象に「三中てらこや体験」を計画中です。中学校生活に少し不安がある、新しい環境に慣れるのに時間がかかる、勉強の仕方がわからない等に対応するためです。一足早い中学校での学習を体験し、少しでも小学校と中学校の段差を無くしていけたらと考えています。積極的な参加をお待ちしています。

各種表彰まだまだ続きます

昨年末の学校便りから多数の表彰者をお知らせしてきたところですが、3学期になりさらに表彰が続いています。第三中学校の生徒が様々な分野で才能を発揮し表彰されることはとてもうれしいことです。特に本校では、学校図書館を活用する授業も多く、学校図書館を活用した調べる学習コンクールで多くの賞を獲得できたことは、今後の授業改善にも生きると思います。



【調べる学習コンテスト表彰式】

【令和元年 第9回荒川区図書館を使った調べる学習コンクール・中学生の部】

学年	氏名	タイトル	賞
3年	竹田 侑平	私達の未来はAI（人工知能）に奪われる？救われる？	区長賞
2年	田尻 千笑	目指せ160cm 身長は伸ばせるのか。	教育委員
2年	村松 夏芽	救世主はチョコレート！！ チョコレートが世界を救う？	校長会賞
3年	立石 美琴	千住大橋 千住や江戸の人々に大切にされた橋	奨励賞
3年	永岡 真奈	アトピー性皮膚炎 ～正しい知識・認識をもとう～	奨励賞
3年	高橋 歩菜	大量絶滅の謎にせまる	佳作
3年	並木 萌子	お父さんたばこやめてよ！	佳作
1年	齊藤 百香	～問屋の役割とは？～ 暮らしを支える物流	佳作
1年	平野 結人	大地震から“命”を守るために	佳作

【第23回 図書館を使った調べる学習コンクール 全国コンクール】

受賞内容	学年	氏名	題名
優良賞	3年	竹田 侑平	「私達の未来はAI（人工知能）に奪われる？救われる？」
優良賞	3年	米山 実穂	「ごみが少ない未来へ～日本のために～」
優良賞	2年	末永 夢	「一番人と身近な野鳥スズメ～驚くべき進化と不思議～」
奨励賞	3年	永岡 真奈	「アトピー性皮膚炎～正しい認識・知識をもとう～」
奨励賞	3年	並木 萌子	「お父さんたばこやめてよ！」
奨励賞	3年	立石 美琴	「千住大橋 千住や江戸の人々に大切にされた橋」
奨励賞	3年	高橋 歩菜	「大量絶滅の謎にせまる」
奨励賞	2年	張 玲菜	「もし急に目が不自由になったら～立場を変えて考える」
奨励賞	2年	村松 夏芽	「救世主はチョコレート！チョコレートが世界を救う」
奨励賞	1年	齊藤 百香	「～問屋の役割とは？ 暮らしを支える物流」
佳作	2年	田尻 千笑	「目指せ！160cm 身長は伸ばせるのか」
佳作	1年	市川みつき	「荒川区にいたらダメです？～荒川区の水害と挑戦～」
佳作	1年	平野 結人	「大地震から「命」を守るために」

【令和元年度 第14回「あらかわ小論文コンテスト」】

受賞内容	学年	氏名	題名	対象図書名
佳作	1年	福島 大智	縛られるな	リリース
佳作	1年	廣橋 花香	世界を見る視点	飛鳥へ、そしてまだ見ぬ子へ
佳作	2年	末永 夢	世界の人々に愛されたエリノア	伝記 世界を変えた人々 18 エリノア・ルーズベルト
佳作	3年	大坪 哲士	様々な考え方	ある晴れた夏の朝

校内弁論大会で表現力を鍛える（1/18）土曜授業公開日

昭和の時代、弁論大会は多くの学校で実施されていましたが、今では実施している学校は数えるほどだと思います。本校に着任した頃、弁論大会が実施されていることを知り、正直驚いたことを覚えています。しかし、14年前、初めて弁論大会を見たとき、そのレベルの高さに圧倒され、継続してきた訳がわかったような気がしました。

世の中が変化し、社会人として求められる資質・能力も大きく変化してきています。次期学習指導要

領でも21世紀型能力の育成が強く求められています。大学入試制度改革では、自分の考えを自分の言葉でしっかり語れるようなスキルが試されるとも言われています。そういう意味でも本校の実施している弁論大会は、テーマを設定し、自分の考えをしっかりとめ、自分の言葉で発表するというスキルを鍛える貴重な場となっています。正に昭和の時代から続く取り組みが、今では時代の最先端をいく行事になってきたように考えています。

今年度は、1月18日（土）に全校大会を実施いたしました。弁論大会は、学級、学年、全校大会へと全校生徒が参加して行われるものです。各学年から選ばれた代表9名が弁論を競い合いました。どの弁士もさすがに学年を勝ち抜いただけあり、甲乙つけがたい見事な弁論を披露しました。学級予選から長い時間をかけての大会でしたが、しっかり自分の考えをまとめたこと、その過程で様々な情報を知ることができたこと、他の発表を聞くことで自分ならこう考えるという思考の幅を広げることができたことと多くのことを得ることができた弁論大会でした。



(1年生優秀賞 土屋 明莉)



(1年生優秀賞 村上 奏太)



(1年生最優秀賞 森 和音)



(2年生優秀賞 大高 道三)



(2年生最優秀賞 江森 翼)



(2年生優秀賞 武政 直月)



(3年生優秀賞 大場 栞)



(3年生優秀賞 服部 桃佳)



(3年生最優秀賞 有田 直輝)

	氏名	演題	入賞
1年	土屋 明莉	水質汚染の現状	優秀賞
	村上 奏太	「地球一個分という解決」をめざす	優秀賞
	森 和音	プラスチック改革	最優秀賞
2年	大高 道三	心のバリアフリーでみんなを幸せに	優秀賞
	江森 翼	待機児童と未来の変化	最優秀賞
	武政 直月	幼い子の幸せのために	優秀賞
3年	大場 栞	共に	優秀賞
	服部 桃佳	移民	優秀賞
	有田 直輝	飢餓問題	最優秀賞



【弁論大会風景】



【登壇前、9名の弁士】

※参観いただきました多くの保護者、地域の皆様、寒い体育館の中での開催となりましたがありがとうございました。

スポクラ汐入駅伝・凧揚げ大会、三中生ボランティアが活躍（1/12・19）

1月12日（日）に本校を会場として青少年育成南千住地区委員会主催の「新春たこ揚げ大会」が行われました。本校より7名のボランティア生徒が参加し、小学生の凧づくり、凧揚げ大会を支援しました。

また、1月19日（日）恒例となったスポクラ汐入駅伝大会が汐入公園、隅田川沿いのマラソンコースを使って行われました。当日は、快晴で風もなく絶好のコンディションのもと、多くの中学生、区民の皆様の熱いレースが繰り広げられました。第三中学校からも生徒の部活動を中心に3チームが参加し、上位を目指しました。また、選手以外にも、大会運営を支援する15名のボランティア生徒が参加しました。地域の皆様、スタッフの皆様とともに、笑顔と歓声にあふれる一日となりました。



（たこあげ大会ボランティア）



（活躍する三中ボランティア）



（スポクラ駅伝ボランティア）

令和元年度 荒川区連合展示会行われる（1/24～1/27）

今年度も荒川区連合展示会が町屋文化センターで、1月24日（金）から1月27日（月）の期間で行われました。輝夕祭展示の部で展示された作品の中から優秀作品が第三中学校を代表して展示されました。大変見応えのある展示会となりました。



セーフティ教室開催（1/18）

今回のセーフティ教室は、南千住警察の全面的なご協力により、プロの劇団による特殊詐欺について演劇、犯罪被害者にならないためのお話を交えて安全指導教室を行いました。迫力ある演劇を通じて身近に潜む特殊詐欺について勉強することができました。全校生徒の息をのむ真剣なまなざしが印象的でした。



（白熱した演技）

部活動報告

部活動名	顧問名	活動状況および顧問のコメント
バスケットボール部	小森 齊藤(雅)	<p>令和元年12月1日(日)、8日(日) 「63カップ」 男子・優勝 女子Aチーム：準優勝 優秀選手賞：(男子)2-B 武田 海里、(女子)2-D 米田 阿乎</p> <hr/> <p>〈顧問コメント〉第一中、第三中、第四中、第七中、第九中の5校で争う「63カップ」でそれぞれ表記の成績をおさめることができました。男子は新人戦での悔しかった思いをバネに練習に励み、優勝することができました。女子も新人戦ベスト4の実力を発揮し、準優勝という結果を残すことができました。次は1年生大会、荒川区冬季大会と続きます。今回の試合の反省をいかし、より高みを目指して練習していきましょう。</p>